



平成 25 年 5 月 14 日

会 社 名 株式会社電業社機械製作所
代 表 者 代表取締役社長 土屋忠博
(コード番号 6365)
問 合 せ 先 取締役上席常務執行役員
管理本部長 山本 昇
(T E L 055-975-8221)

New DMW 中期経営計画 2013 について

当社は、“Challenge!! プラス One”を掲げる、新たな中期経営計画「New DMW 中期経営計画 2013」をスタートします。

2013 年度から 2014 年度までの第 1 ステップで、現行資源の中で利益の最大化と受注拡大に向けての体制作りを行い、2015 年度から 2016 年度までの第 2 ステップで、受注、生産体制拡大を実践していく計画です。

<中期経営計画による達成ビジョン>

- ①当社の製品および設備工事を通じて、信頼されるブランドとしての価値を高め、顧客の創造へつなげる。
- ②既存市場におけるプレゼンス向上に加え、新規海外市場開拓を図る。
- ③^{たゆ}弛まぬ研究開発と、最適設計のスピード向上により、国内外における技術優位を築く。
- ④受注拡大に対応できる国内工場の生産設備の拡大と海外生産拠点の充実を図る。
- ⑤グローバル化に対応できる次世代の人材を早期に育成する。

<中期経営計画のテーマ>

- マーケット： 社会インフラ、パワープラント、ガス&オイル市場における受注の拡大と、新たに水ビジネス（海水淡水化）分野におけるプレゼンスを確立する。
- 地域： 日本、インド及びサウジアラビアを始めとする中東地域にて安定的受注を確保し、さらに東南アジアへの市場展開と北米における市場開拓を図る。
- 官需営業力： 国内の公共インフラ市場において、高い技術と提案力を持ってシェアを一層拡大する。
- 新製品開発： 世界最高水準の流体機械を市場に投入し、さらに新エネルギー分野にて新技術を開発する。
- 生産能力： 受注高 250 億円に向けた生産体制を確立する。
- 人材育成： 優秀な人材を確保し、一貫した全社的研修教育システムを構築する。
- 財務： 安定した財務・資金計画を作り実施する。

<経営数値目標>

目標とする連結経営数値は以下のとおりです。

【第 1 ステップ】

(金額単位：億円)

	2012 年度 (実績)	2013 年度 (目標)	2014 年度 (目標)
受注高	176	220	220
売上高	193	201	223
営業利益	7.7	8.0	9.3
売上高営業利益率	4.0%	4.0%	4.1%
経常利益	8.5	8.7	10.0
当期純利益	5.0	5.1	5.8
1 株当たり 当期純利益	113 円	115 円	131 円

【第 2 ステップ】

(金額単位：億円)

	2015 年度 (目標)	2016 年度 (目標)
受注高	230~250	
売上高営業利益率	5.0%以上	